

「氷室」巻頭句一覧

巻頭句〔各号の右の句は氷壺集・左の句は氷室集〕

・・・・・・・・・・・・・・・・

平成26年(2014年)

12月号

飛び石のぐらりと二百十日かな
蟪蛄の目にためてゐる光かな

京都 三和 幸一
岐阜 大口 彰子

11月号

行く夏の焦がし醤油の匂ひかな
青空の真ん中の雲秋に入る

岐阜 大口 彰子
兵庫 橋本 真里

10月号

夏痩せの背筋のぼして座りけり
祭笛やをら帯より取り出せり

京都 三和 幸一
茨城 余米 重則

9月号

母来ては鳴き父来ては鳴き燕の子
日焼顔一生解かず逝かれけり

和歌山 成川 和夫
沖繩 屋嘉比順子

8月号

縄文の火の跡へ行く蟻の列
曲屋の湯船に太き菖蒲束

神奈川 宮澤 淑子
秋田 佐々木 成

7月号

要塞の砲が昼告げのどけしや
ゆつくりと歩き遅日を使ひきる

神奈川 宮澤 淑子
群馬 諸田 正

6月号

大空へこゑ持上ぐる雲雀かな
まんさくや停車短き山の駅

岐阜 大口 彰子
島根 伊藤多美子

5月号

春なれば曙光は射せど師は在さず
弓道部の火矢に始まる野焼かな

群馬 高橋キセ子
和歌山 宮井 諄子

4月号

なくしたる影の重さや冬の蜂
振舞の汁の熱さや大晦日

岐阜 大口 彰子
兵庫 橋本 真里

3月号

冬ぬくし地球の息吹遣す石
言ひさしの言葉とどめて炭をつぐ

京都 重富 國宏
兵庫 橋本 真里

2月号

藁買ひの藁積む釣瓶落しかな
種茄子の紺錆びてをり耐へてをり

和歌山 成川 和夫
和歌山 成川 和夫

1月号

身に入むや骨張っている膝頭
渦の波寄るたび岸の荻さわぐ

岐阜 大口 彰子
秋田 佐々木 成